



福祉だより

室蘭社協ホームページ <http://www.muroranshaky.jp>

No.138

平成25年3月発行

発行・編集
社会福祉法人
室蘭市社会福祉協議会
室蘭市本町2丁目2番11号
TEL 22-1858
FAX 22-1860
【メールアドレス】
info@muroranshaky.jp



今回の福祉だよりでは、むろらん社協の福祉サービスの内容をご紹介しますとともに、実績を報告いたします。

むろらん社協は、今年の12月で、社会福祉法人として設立後、60周年を迎えます。

これまで民間団体として、市や国・道の福祉施策では対応が困難な室蘭市民を対象に、少しでも手助けをとの思いで福祉サービスを実施してきました。

今後は、第4期地域福祉実践計画の着実な実行など、行政とまさに両輪のごとく、さらに踏み込んだ福祉サービスを展開していきます。

町内会・自治会を通して1世帯100円の納入を依頼し、皆さんからお預かりしている社協会費と、赤い羽根共同募金からの助成金、それに市などからの事業補助・委託金、オムツ・清拭布などの市民からの物品寄付を有効に活用し、民生委員・福祉委員・ボランティア団体などとともに、さらなる地域福祉を推進していきますので、新年度も引き続きご協力をお願いいたします。

むろらん社協は、“ふれあうところのかけ橋”をモットーに地域の支えあいを進めています。

「福祉だより」は、市民からの「社協会費」と「赤い羽根共同募金」の助成金で発行しています。

むろらん社協のH23決算のあらまし

※「区分」欄の項目名は、会計科目によることなく、できるだけ分かりやすく表しました。

単位：千円

収 入		支 出		
区 分	決算額	区 分	決算額	内 訳
町内会などからの社協会費	3,727	人件費	24,043	職員8人
市民からの寄附金	1,574	社協・他団体事務経費	6,009	事務所維持、車両維持、事務用資機材、その他社協一般事務費、共同募金委員会・日本赤十字・老人クラブ・民生委員児童委員協議会等を含む事務経費
市・道社協からの補助金	32,248	調査広報費	2,036	「福祉だより」配付、社会福祉大会開催など
市・道社協からの受託金	1,347	社協独自の福祉サービス	6,570	①愛の入学プレゼント ②交通遺児援護金 ③火災見舞金 ④寝たがり高齢者等支給用の紙オムツ購入 ⑤貸出用車椅子の維持 ⑥ふれあい昼食会 ⑦たすけあいチーム運営 ⑧オジャマコールサービス ⑨子育てサロン ⑩高齢者サロン ⑪障害者ふれあいまつり ⑫見守り携帯機器貸与など
貸付金償還金収入	6,267	貸付金	6,005	福祉資金貸付金
共同募金会からの助成金	6,036	市の補助・委託を受けての事業	1,630	①聴覚障害者等FAX購入助成 ②自動消火器・火災警報器設置助成 ③布団乾燥サービス ④見守り訪問サービス ⑤ふれあい市民農園運営 ⑥福祉台帳システムの構築
老人クラブなどからの事務負担金	1,823	ボランティア活動費	2,993	ボランティア講座・ボランティア団体活動助成費など
預金利息ほか	194	心配ごと相談	851	心配ごと相談や生活福祉資金相談の事務費・活動費、相談員の人件費等
会計間等のやりくり	1,801	会計間等のやりくり	1,801	
		固定資産取得費	3,086	福祉台帳システム
		積立金	1,623	退職積立、福祉基金積立、60周年事業積立
合 計	55,017	合 計	56,647	

○会費の実績は次のとおり

会員区分		会費年額	実績件数	実績額
普通会員	第1号会員 町内会・自治会(世帯)	100円	145町会	2,323,300円
	第2号会員 室蘭市内の社会福祉施設	3,000円以上	17施設	51,000円
	第3号会員 室蘭市内の社会福祉団体	1,000円以上	74団体	210,000円
特別会員	法人等(社会福祉法人・財団法人・社団法人・法人事業所・商店等)	3,000円以上	131団体	702,000円
	個人	500円・1,000円・2,000円以上	489人	292,500円
	団体(事業協同組合・協会・支部等)	3,000円以上	38団体	148,000円
合 計			894件	3,726,800円

「社協会費」の使いみち 単位：千円

1. 地区社協活動費	857	2. ふれあい昼食会	867
3. 福祉だより発行	132	4. ボランティア活動	427
5. 心配ごと相談	10	6. おむつ購入・車椅子修理	7
7. 道社協の会費・負担金	957		
8. 理事会・評議員会・事務器リース・事務経費	469		

●●●●● 福祉サービスの内容と実績 ●●●●●

お困りごとが起きたら

1 相談

○心配ごと相談

暮らしの中の心配ごと、悩みごとがありましたらご相談ください。
平日 8:45~17:15 ☎ 22-1858

なお、毎週月・金の10時~15時は、専門相談員が相談をお聞きします。
※市役所も各種相談窓口を設置しています。
実績・・・相談受付け数 61人、相談件数 147件



2 資金貸付

○生活福祉資金貸付の申請窓口(北海道社会福祉協議会の事業)

就労活動中の家計支援を目的に、教育・住宅・緊急小口など、用途ごとに貸付要件や上限額、手続きが異なります。

北海道社会福祉協議会への申請のお手伝いをしますが、書類完備申請後、審査・判定などで貸し付けまで2~3カ月(緊急小口は1週間)程度要します。
実績・・・13件 6,827,000円

○福祉資金貸付

一時的困窮で、返済が確実な場合の小口貸し付けです。

貸付上限3万円(内容により最大5万円)、無利子、10カ月以内の返済
※借受人並びに連帯保証人の市税の滞納無し証明、印鑑証明、所得に関する書類などが完備申請後、3日程度で貸し付けします。
実績・・・一般世帯 3件、130,000円

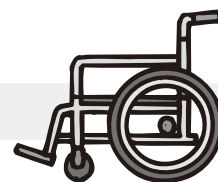
在宅の寝たきり・障がい者を支援

3 貸し出し・支給(無料)

★車椅子貸し出し

対象：移動が困難なため車椅子を必要とする市民

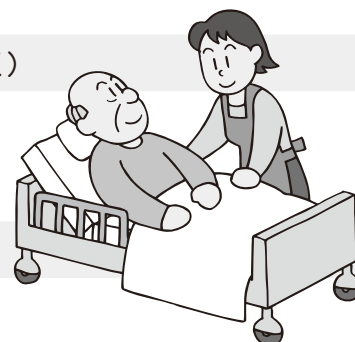
貸出期間4ヶ月(継続更新可能) ※歩行補助器等はありません。
申請：認印 その場で貸与
実績・・・159世帯、延べ 283件



☆紙おむつ等の支給…平おむつ・尿とりパッド

対象：要介護4以上の在宅者(市の家庭介護用品支給対象者は除く)

月30枚程度 申請：介護保険証・認印 その場で配布
実績・・・605件



☆清拭布支給

対象：在宅生活・施設入所等で清拭布の必要な方

月200~300枚程度 申請：認印 その場で配布
実績・・・321件

※お願い 上記☆印2つのサービスを実施のため、家庭・施設等で不要となった対象品や材料など、ぜひ、ご寄贈ください。

4 日常生活支援(市からの補助事業)

○布団の乾燥・洗濯のサービス(無料)

寝たきりで、以下に該当の方の寝具を乾燥・洗濯をします。

対象：①要介護4以上の高齢者 ②体幹・下肢障害2級以上

乾燥：2カ月に1回、洗濯：半年に1回 申請：介護保険証または障害者手帳、認印
実績・・・延べ26人、助成総額 92,210円



○自動消火器・火災警報器設置(無料)

※器具取替・移設・撤去、電池交換は利用者負担

対象：以下に該当の方が在宅する世帯

①要介護4以上の寝たきり高齢者 ②体幹・下肢・視覚障害1級(聴覚障害2級)の手帳交付者・児
③要介護1以上で火災発生時の避難が著しく困難な一人暮らし高齢者

申請：介護保険証または障害者手帳、認印
実績・・・自動消火器 9台・点検 4台、火災報知器 11台、助成総額 327,600円

○聴覚障害者等ファクス購入の一部助成

対象：以下に該当の方が在宅する世帯

①聴覚障害 ②音声・言語機能障害 いずれも4級以上の手帳交付者・児

助成額：消費税・工事費を除く機器本体価格の3分の2(4万円限度)
申請：障害者手帳、認印 ※購入後の申請は助成不可
実績・・・2件 助成総額 26,571円



一人暮らし高齢者等への支援

5 見守り・声かけ

○訪問サービス(無料)

乳酸菌飲料を毎日宅配し、異変を察知したら、近隣協力員や民生委員に連絡し対処します。

対象：おおむね65歳以上の一人暮らし、または寝たきり高齢者で、民生委員が必要と判断した世帯(親族や近隣住民との交流により安否確認が可能な方を除く)

実績・・・延べ 419件、助成総額 389,694円

○オジャマコール

閉じこもりがちな高齢者に定期的に電話をかけ、安否確認のほか、各種相談・必要な機関への橋渡しなどを行います。民生委員のボランティアが毎週火～木の午後2時間奉仕します。

対象：一人暮らしで閉じこもりがちや虚弱な高齢者などで、民生委員が必要と判断した世帯

実績・・・対象者 35人、声かけボランティア 6人、通話延べ回数 589回

○たすけあいチーム(「愛の一声運動」を含む)

要支援者ごとに、地域の民生委員・福祉委員・近隣協力者でチームを編成し、声かけなど安否確認や相談・支援を行います。

対象：訪問サービス、緊急通報システム(市の事業)の利用者のほか、民生委員が必要と判断した方、本人や家族・関係機関から要請のあった方

実績・・・たすけあいチーム数 850 対象要支援者数 850人

○ふれあい昼食会(地区社協事業への支援)

年1回昼食会に一人暮らし高齢者を招待し、歌・ゲームなどで楽しいひと時を過ごしていただきます。市内12の地区福祉協議会ごとに企画・実施しています。

対象：70歳以上の一人暮らし高齢者(または配偶者の長期入院などで実質的に一人暮らしの方)

※対象者への案内は、民生委員による日常の調査活動で得られた情報を活用しますが、調査時不在、長期入院、調査拒否などの理由でまれに把握できない場合があります。心当たりのある方は、地区の民生委員にお問い合わせください。

実績・・・高齢者参加者数 1,478人、ボランティア参加者数 644人 計 2,122人
総費用 1,933,345円

○見守りセンサー付き携帯電話機の貸し出し(無料、通話料は自己負担で、1カ月1,500円程度)

市の緊急通報システムの対象範囲は限られており、市の制度の補完的役割と一人暮らしに限らず、離れて暮らす家族と高齢者とのつながり、また、民生委員と家族の連携、さらには高齢者自身が「自分の元気情報」を積極的に発信するきっかけづくりを検証するため、試験的に導入し、市民に貸し出しています。

対象：室蘭市民で見守りが必要な方

実績：貸与済台数 40台 機器購入費用(50台) 1,239,000円

※平成25年1月末現在で、5台が貸し出し可能です。お待ちしております。

健やか生活への支援

6 元気高齢者への支援

○ふれあい市民農園区画貸付(市からの受託事業)

高齢者の野菜や花づくりを通じた健康づくりや生きがい作りを支援します。

募集：毎年2月(要領などは広報むろらん2月号に掲載)

応募者多数の場合は抽選

対象：市民(65歳以上の高齢者が優先になります)

貸付期間：1年間(65歳以上に限り2回更新可)

年間料金：100㎡=2,500円、50㎡=1,250円

実績・・・貸付区画 123、借受者 150人、入園延人数 3,562人



○高齢者向け講座(地区社協事業への支援)

年1回程度、健康・防犯など高齢者の安心生活にお役立ちの講座などを、市内12の地区福祉協議会ごとに企画・実施しています。

対象：年齢や参加予約の有無など、地区により異なります。

実績・・・開催 5回、参加者 300人

7 サロン事業の開設を支援

○高齢者サロン

閉じこもり防止、生きがい作りや健康増進を目的とした“高齢者の交流の場”の開設経費を支援しています。(現在、市内3カ所で実施)

●港町会館(毎月第2・第4火曜日 第2地区民児協運営)

●陣屋町会館(不定期 第12地区社協運営)

●日の出町2丁目中央町会館(毎月第4金曜日 第7地区民児協運営)

実績・・・開催延回数 42回、利用者延人数 710人、

従事ボランティア参加延人数 459人

○子育てサロン

子育て不安解消、リフレッシュなどを目的とした“親子の交流の場”の開設経費を支援しています。(現在、市内3カ所で実施)

●常盤町会館(毎月第1・第2月曜日 第2地区民児協運営)

●寿町会館(毎月第2・第4火曜日 第7地区民児協運営)

●八丁平第一町会館(毎月第2火曜日 第8地区社協運営)

※サロン事業の開設時間はいずれも原則10時～12時、参加等の問い合わせは、各運営者へ。

実績・・・開催延回数 55回、子ども参加延人数 498人、親参加延人数 386人

従事ボランティア参加延人数 402人



被災などへの支援

8 見舞金の贈呈等

○火災見舞金

火災被害の世帯のうち、市の見舞金支給の該当にならなかった世帯に2万円を贈呈します。

実績・・・7世帯、 140,000円

○災害見舞金(北海道共同募金会の事業)

自然災害や火災等の被害に遭われた世帯に、被害の程度に応じ1~2万円を贈呈します。

実績・・・14世帯、 220,000円

○災害救急セット支給(日本赤十字社の事業)

自然災害や火災被害に遭われた世帯で、必要な方に毛布と生活緊急セットを配付します。

実績・・・毛布 8枚、 日用品セット 2箱

※いずれも防災機関の調査を基に現場調査を行い判断します。

なお、本人の故意・重大過失、災害救助法適用時は除外。

ボランティアによる地域づくり

9 ボランティアの育成・支援

○ボランティアセンター設置

ボランティア活動をしたい、ボランティアが欲しいなどの相談、活動の普及・支援・調整をします。また、各種ボランティア団体の活動拠点にもなっています。お気軽に相談ください。

選任コーディネーター相談日 毎週月・水・金曜日 10時~15時

実績・・・来訪者数 354人、 ボランティアに関する問い合わせ・相談 385人

ボランティアを受けたい人の相談件数 141件・派遣の関わり 229人

ボランティアしたい人の相談件数 214件・派遣の関わり 466人

相談



○ボランティア活動費補助(市からの補助事業)

ボランティアの育成・促進を目的に、団体活動費の不足の一部を支援します。

対象：ボランティアセンターへの登録団体で「室蘭市ボランティア連絡会」に加入し、活動している団体。

補助額：団体運営の不足額を上限に、社協予算の範囲の一定額

申請：年度当初に、必要書類を添えて申請

実績・・・助成団体 22団体、 活動費助成総額 1,680,000円

○ボランティア活動・行事用保険等の受付事務(全国社会福祉協議会の事業)

地域の福祉行事でケガや主催者の賠償責任補償保険と、ボランティア活動中の事故・ケガや賠償責任補償保険の2種類があり、むろらん社協で受け付けています。

掛金・保険金等の詳細パンフレットがありますのでお問い合わせください。

実績・・・延加入件数 132団体・個人、 2,045人

※社協が行う事業には、社協が掛金を負担していますので、参加者がケガの場合など保険の対象になります。該当の場合は速やかにご連絡ください。

○雪かき応援

高齢者の雪かきを応援するため、「雪かきボランティア」と「雪かきで困っている方を」をそれぞれ募集し、コーディネートしています。

※依頼者は、ボランティアに、1回につき30分 500円の謝礼を払うことを了承の上で登録します。

実績・・・実施地区(平成23年度) 高砂町2~5丁目、水元町、天神町、大沢町1丁目、母恋南町

登録ボランティア人数 130人 困っている方 93人

※今シーズンは、対象地域を市内全域に拡大しています。



室蘭市共同募金委員会だより

平成24年度赤い羽根募金実績 (10/1~12/31)と助成先

総額 **1,167万 2,497円**

町内会・自治会	778万 5,585円	(前年比較 -201,924円)
会社・商店 (法人募金)	259万 6,930円	(+48,330円)
街頭募金(H24年10月1日・6日・7日・15日実施)	52万 8,903円	(-10,903円)
学校募金他(学校・団体からの募金など)	76万 1,079円	(+36,401円)



平成24年度 助成先

合計 **663万 7,000円**

千円

団体名	事業名	助成額
1 (NPO)ひだまりの森	手洗い器取付工事	150
2 室蘭市社会福祉協議会	はつらつ福祉ボランティア講座 喜門岱小・翔陽中・大谷高の指定校のボランティア活動	350
3 室蘭ボランティアクラブ	公共施設および地域の清掃事業 他	60
4 室蘭聴力障害者協会	研修事業	50
5 室蘭地区保護司会	「社会を明るくする運動」関係事業の推進	30
6 室蘭市青少年健全育成推進協議会	地域青健協のためのリーダー育成事業(研修会開催)	110
7 室蘭ふきのとう文庫	布本・布遊具製作貸出事業	30
8 (NPO)室蘭市手をつなぐ育成会	知的障がい者福祉増進事業	80
9 室蘭市ことばを育てる親の会	研修会等開催・会報の発行事業	30
10 (NPO)室蘭母子福祉会	教養講座開催・会報発行事業	50
11 心身障害児(者)と共に歩む会 ひまわりクラブ	ひまわりクラブレクリエーション事業	30
12 室蘭LDを考える会	教育講演会開催事業	30
13 室蘭・登別心身障がい者職親会	心身障がい者の就労および啓発事業	50
14 (NPO)ひだまりの森	調理部備品購入	100
15 室蘭視力障害者福祉協会	社会参加事業	30
16 (NPO)ワニワニクラブの仲間達の会	就園前の乳幼児を持つ保護者への子育て支援事業	56
17 (NPO)HAPPY WORK 室蘭	備品整備購入(電子天びん)	40
18 (NPO)ウィメンズネット・マサカーネ	DV家庭で育った子どものためのいきいき事業	60
19 室蘭市女性保護の会	平成24年度全道女性保護の会研修会	100
20 室蘭市民生委員児童委員協議会	研修会・研修等の開催事業	50
21 室蘭市老人クラブ連合会	室蘭市高齢者生きがいと健康づくり事業	50
22 室蘭市社会福祉協議会	心配ごと相談・調査研修・福祉大会・社協だより・地域福祉活動(ふれあい昼食会など)・ボランティア活動・心身障害者福祉推進・老人福祉推進	5,101

平成24年度歳末たすけあい募金実績 (12/1~12/31)と助成先

	金額	前年比較
町内会・自治会	182万 8,916円	(-43,985円)
老人クラブ	37万 7,682円	(-67,885円)
団体・個人	125万 8,788円	(+30,498円)
市民演芸大会 (入場券収入)	124万 6,500円	(-98,725円)

総額 **471万 1,886円**

次のとおり歳末たすけあい見舞金等として贈呈しました。

- 助成先 707件 —
- ◆生活困窮世帯・在宅ねたきり老人 281件
 - ◆児童施設・老人施設入所者・障がい者作業所(共同生活寮) 411件
 - ◆里子 11件
 - ◆社会福祉協議会が実施する地域福祉事業 4件

**日本赤十字社室蘭市地区
活動資金(社資)の実績**

H23年度	総額 6,586,254円
町内会・自治会 116件	6,317,350円
個人・団体 17件	238,904円
法人 3件	30,000円
H24年12月末総額	6,870,753円

※総額の約18%が事務費・事業費として、交付されます。



[一般赤十字奉仕団炊き出し訓練の様子]

23年度の使いみち・・・1, 186千円

- | | | | |
|------------------|-----|----------------|-----|
| 1. 日赤のチラシ折り込み等経費 | 235 | 2. 救急法講習会開催経費等 | 164 |
| 3. 各種奉仕団への活動費助成金 | 586 | 4. 災害等資金積立金 | 201 |

※日本赤十字は、国内外の医療救護活動や血液事業、各種講習会など「命を救う」活動をしています。

東日本大震災義援金

H25年1月末現在

- ・室蘭市共同募金委員会扱い分
124,670千円
- ・日本赤十字社室蘭市地区扱い分
14,748千円
- 合計 139,418千円

上記の金額を、全て上部団体をとおして、配分委員会に送金しています。

12月13日現在、全国で3,602億5,950万円の募金額のほとんどを配分済です。

むろらん社協事務所案内図

室蘭市本町2-2-11 電話：22-1858
FAX：22-1860
メールアドレス：info@muroranshakyō.jp

